

ワークショップ報告



Workshop

「南区のまちづくりを子どもと一緒に考えるワークショップ」を開催しました

8月から9月にかけて、南区内の各中学校区単位で小・中学生とその保護者を対象にした「南区のまちづくりを子どもと一緒に考えるワークショップ」を開催しました。

カフェにいるようなリラックスした雰囲気の中で、「自分が住んでる中学校区のまちづくりの〇と×」について、参加者同士で大いに話しあっていただきました。

子どもたちにとって、自分が住んでいる地域を見つめ直すいい機会になったのではないかと思います。「まちづくり」という難しいテーマでしたが、子どもたちからは大人顔負けの意見がたくさん出てきました。また、保護者の方からは“地域愛”がこもったご意見をいただきました。皆さんからいただいた貴重なご意見は、これから南区のまちづくりを進める中で参考にさせていただきます。

8/2
日



飽田中学校区

- 〇 「あいさつがきちんとできる」、「地元に戻ってくる人が多い」など
- × 「用水路が多くて危険」、「お店が少ないので、買い物が不便」など

8/9
日



託麻中学校区

- 〇 「花のまち”花を使ったまちづくり」、
「ジュニアヘルパーでお年寄りの自宅訪問」など
- × 「子ども会の加入率低く、活動縮小」、
「お年寄りに任せすぎだから協力が必要」など

8/9
日



力合中学校区

- 〇 「子ども会の集まりが多い」、
「力中の清掃活動『町も心も磨くんじゃー作戦』」など
- × 「公園でボールが使えない!」、
「夜暗い。街灯が少ない。」など

8/22
土



富合中学校区

- 〇 「人と人のつながりが深い」、「中学校の『合格田』」など
- × 「親密すぎてプライバシーがない」、「買い物するところがない」など

8/23
日



下益城 城南中学校区

- 〇 「おやじダンスがある」、
「特例区事業がなくなったが、地元企業の協賛がある」など
- × 「特例区事業がなくなって夏祭りの補助金がなくなった」、
「塚原古墳は利用価値があるから、何かアイデアを!」など

8/30
日



日吉・ 城南中学校区

- 〇 「お年寄りがいつも優しく見守ってくれている」、「たんぼぼクラブ、
わたげクラブなど子育てサポートがしっかりしている。」など
- × 「街灯が少ない。信号が少ない」、
「子ども会の役をする人としらない人と差がある」など

9/27
日



天明中学校区

- 〇 「天明中学校が『日本水大賞』受賞」、「天明水の会、加勢川開発
研究会、環境保全隊、PTA、学校などがつながって活動を続けている」など
- × 「後継者不足」、「人が減っている、高齢化が進んでいる」など



情報の共有が
みんなの意識統一に
つながっていくみたい!

みんなで
話し合うことが
大切なんだね!

はまっち

とまみい